

トライアングル・トラスト
レゴ®シリアスプレイ®
技法と専用教材を用いたワークショップ
2023 体感型研修カタログ

はじめに	02
ワークショップの流れ	02
目的	02
解説	03
特徴	03
メリット	03
主なテーマ	04
研修一覧	04
【0】内定者のチームビルディング	05
【2】相互理解でチームビルディング	06
【6】自分の仕事を理解する	07
【7】自分の仕事の役割を把握&チームビルディング	08
【18】自社の問題点を明確にする	09
【19】チームビルディングで戦える会社づくり	10
【22】レゴ&えんじえる「イノベーション研修」	11
【30】2030SDGsカードゲーム体感型研修	12
各種目的ごとの実績と受講者の声	13～15
講師	16
お問い合わせ、資料請求について	17
その他	17
連絡先	17

■ はじめに ■

レゴ®ブロックを活用したワークショップの正式名は、「**レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップ**」です。

これは、デンマークのおもちゃメーカーレゴ®社の教育事業部門開発責任者ロバート・ラスムセン氏が 2001 年に開発した企業向け教育プログラムです。マサチューセッツ工科大学メディア研究所のシーモア・パパート教授が提唱した教育理論「コンストラクショニズム」(「モノを使って考える」「手を動かして考える」ときに、創造的なエネルギーや思考、モノの看法が引き出される)をベースとしています。

専門教育を受けたファシリテーターの問いに応えながら、レゴ®ブロックを使って3次元モデルの作品を創ります。頭の中でまとまらない考えを、作品を通じて可視化して他者に話し(共有)、他者からの質問に対応する中で、本当に伝えたいことが明確になります。個々の作品をひとつに統合するプロセスでは、互いの価値観を繋ぎ一つのチームとして新たな内観、行動指針を創ることができ、個々が目的を共有し、行動にコミットします。

「チームビルディング」「コミュニケーション」「リーダーシップ」「組織のビジョン共有」などを開発する社員研修です。

■ ワークショップの流れ ■

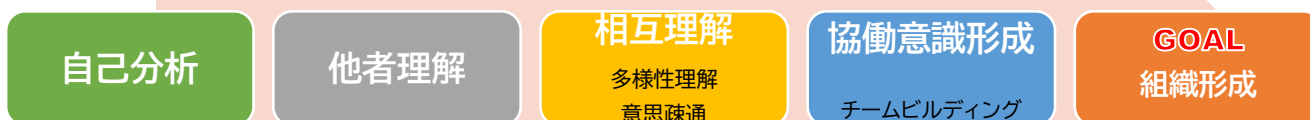
「レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップ」の基本の流れは、以下の通りです。

1. お題が出る
2. そのイメージを形にし、作品(レゴ®モデル)を創る
3. 説明する
4. 質問を受け、答える
5. 気づきを得る

■ 目 的 ■

ワークショップを通じて、以下の内容を習得します。

● キャリア意識形成



● ビジネスカスルアップ



弊社ではレゴ®シリアスプレイ®を**他の研修と組合せ**その効果を高めます。

前段として「**キャリア意識形成研修**」がおすすめです。「組織経営」「多様性」について講義、所要時間は30分から3時間です。ほかに、レゴの後に**アントレプレナーシップ教育プログラム「えんじえるゲーム®」**と組合せ、具体的なビジネスプラン作成に繋げ、研修終了後から実践的イノベーションをスタートさせることが可能です。

■ 解 説 ■

「レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップ」は、シンプルな流れを体感する中でさまざまな気づきを得ていただきます。その基本が、「自己理解」「他者理解」「相互理解」です。

レゴ®ブロックは色や形でさまざまな組合せが出来ます。例えば2×4ポツの2個(2色)の組み合わせは 24 通り、3個だと 1060 通り、6個なら1億通り以上です。

受講者が作るレゴ®ブロックの作品は同じものがほとんどなく、受講者のほぼ全員の気づきが「人は違う」。

「人は違う」=「多様性」の理解に繋がります。

ワークの流れのメインは、お題に沿って受講者のみなさんがレゴ®ブロックで作品をつくりその説明をし、他の受講者が質問をします。質問は、原則 ①色 ②形 ③すきま の3点です。

「なぜ、その色を使ったのですか？」

「そのブロックのカタチは何をあらわしていますか？」

「そのすきまは、あえて言うなら、何を意味していますか？」

このような質問を他の受講者から受け、その質問に答えようと自分の中にある考えを無理やり見つけ出すことが結果的に潜在意識の見える化に繋がります。

「自分はこう考えていたんだ」と気づき、他者は「この人はこういう考えを持っていたんだ」と理解する。

この一連のやりとりが、結果的に「自己理解」「他者理解」を深め、「意思疎通」「合意形成」に繋がります。

このように、ワークショップの流れはシンプルですが、実は奥が深い内容になっています。

■ 特 徴 ■

1. 効率的

短時間で「自己理解」「他者理解」「相互理解」「チーム意識向上」が可能

2. 平等性

受講者の持ち時間(問いに対する作業時間、説明時間など)は平等で、同じ時間が与えられます。

そこには、階層による違いは発生しません。

3. 忘れない(記憶に残りやすい)

レゴ®ブロックという「モノ」を使うことで、その姿が脳裏に焼き付き、記憶に残ります。

レゴ®ブロックの写真を見ると、そのときのやりとりが鮮明に思い出されます。

■ メリット ■

1. 意欲的な参加に繋がる

レゴ®ブロックを使うことで、身構えずリラックスして受講できます。

2. チームビルディングの形成

スムーズに自分の意見を話すことができるので、自己理解に繋がり、協働意識が芽生えます。

※組織形成三原則(目的共有→意思疎通→協働意識)が実践できる。

3. リーダー社員の発掘

考えを掘り下げていくので、その人の本質が見えてきます。個性、価値観が理解でき、リーダーとしての素地がわかります。

■ 主なテーマ ■

- ・リーダーシップ養成(問題点の見える化と共有・問題解決・課題策定・PDCA トレーニング)
- ・チームビルディング(仲良くなる、絆づくり、組織形成)
- ・従業員のキャリア形成(仕事理解・仕事の役割理解)
- ・コミュニケーション力の向上(自己理解、他者理解・相互理解・多様性(ダイバーシティ)理解)
- ・事業理念の社員及び関係各社への浸透
- ・新入社員、内定者の意識づくり
- ・会社の課題解決(イノベーションに向けての企画立案・新規事業の素案づくり など)

ご要望にあわせた、専用のワークショップとしての開催となります。

お客様の研修目的やニーズを最大限に取り入れ、デザインしたものをご提供しています。

■ 研修一覧 ■

研修 番号	研修テーマ	対象者／目的
0	内定者のチームビルディング ～互いの性格や個性などを理解し、絆をつくる～	内定者 同期生が仲良くなる(絆づくり)
2	相互理解でチームビルディング ～新入社員研修におすすめ！新チームや上司部下間にも◎～	新入社員 同期生が仲良くなる(絆づくり)、自己理解・自己分析
6	自分の仕事を理解する ～自分の仕事を見つめ直し、なりたい自分への目標設定をする～	新入社員、2～5 年目社員、リーダー社員 自己理解・仕事理解・自社理解
7	自分の仕事の役割を把握&チームビルディング ～自分の役割を把握し、職場の一員としての目標を定める～	2～5 年目社員、リーダー社員 自己理解・仕事理解・役割理解・組織理解・自社理解
18	自社の問題点を明確にする ～自社の問題や課題、気づいていなかった問題点を浮き彫りにする～	リーダー社員、管理職社員(課長・係長) 自己理解・仕事理解・自社理解・自社問題把握・自社問題共有
19	チームビルディングで戦える会社づくり ～リーダー、管理職におすすめ！～	リーダー社員、管理職社員(課長・係長) 自社理解・自社問題把握・自社問題共有・自社課題発見・自社課題共有
22	レゴ&えんじえる「イノベーション研修」(4講座) ～チーム対抗でイノベーションに向けて企画立案を行う～	リーダー社員、管理職社員(課長・係長)、営業社員 自己理解・他者理解・役割理解・自社理解・自社問題把握・自社問題共有・業界理解・課題抽出・課題共有・課題解決スキルアップ・PDCA トレーニング
30	2030SDGsカードゲーム体感型研修 ～SDGsの本質を体感で理解し、どのように実践していくかを考える～	新入社員、2～5 年目社員、リーダー社員、管理職社員(課長・係長)、営業社員、人事担当者、シニア社員 社会問題理解・環境問題理解・経済問題理解・社会環境経済循環理解・持続可能(サステナビリティ)理解・CSR 理解・ジブント意識形成・自社問題把握・自社問題共有 ほか

研修内容	レゴ®ブロックを使って行うワークショップで、こちらの研修は内定者研修にオススメです。 出題されたテーマに対して個々でレゴ®ブロックで形づくり、チームで1人ずつ説明します。そして、聴いていたメンバーは、レゴ®ブロックに質問し、発表者はそれに答えます。 受講者同士がお互いの性格や個性などを理解することができ、自然と仲間意識が深まります。また、発表者は質問を受け答える中で、自分自身を見つめなおすことが出来ます。 入社前に、同期同士が仲良くなることを目的に研修をご検討されている企業様にオススメです。 《ポイント》 レゴ®ブロックというモノを使うことで、リラックスして取り組むことが出来ます。 話すことが苦手な人でも思ったことを言葉にして話す満足感を得ることが出来ます。 考えを掘り下げていくので、個性や価値観が見えてきます。
研修概要	対 象 内定者 受講方法 対面型・オンライン 時 間 対面型 4 時間/オンライン 4 時間 or100 分 定 員 対面型 原則 10 名(最大 30 名まで)/オンライン 原則 4～10 名(最大 30 名まで) 教 材 レジューメ、レゴ®ブロック
カリキュラム	【4 時間(対面型・オンライン)】 ① キャリア意識形成 ・地域の産業 ・社会人と学生の違い ・会社が求める社員像 ・キャリアデザイン ② レゴ®シリアスプレイ® ・導入(アイスブレイク) ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ ・本ワーク(前半) テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返して行います。 ・休憩 ・本ワーク(後半) ③ 振り返り、まとめ 【100 分(オンライン)】 ・キャリア意識形成 ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ(自己紹介 ほか) ・本ワーク テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返して行います。 ・振り返り、まとめ 《テーマ例》 自分が思い描く入社後の姿/子供のころ好きだったこと/今まで一番思い出に残る事/自分の強み/自分が今までに一番頑張った事 etc
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 寺島 義智 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

2 レゴ®シリアスプレイ® 「相互理解でチームビルディング」

～新入社員におすすめ！相互理解でチームビルディング～

研修内容	レゴ®ブロックを使って行うワークショップで、こちらの研修は新入社員研修にオススメです。 出題されたテーマに対して個々でレゴ®ブロックで形づくり、チームで1人ずつ説明します。そして、聴いていたメンバーは、レゴ®ブロックに質問し、発表者はそれに答えます。 受講者同士がお互いの性格や個性などを理解することができ、自然と仲間意識が深まります。 また、発表者は質問を受け答える中で、自分自身を見つめなおすことが出来ます。 《ポイント》 レゴ®ブロックというモノを使うことで、リラックスして取り組むことが出来ます。 話すことが苦手な人でも思ったことを言葉にして話す満足感を得ることが出来ます。 考えを掘り下げていくので、個性や価値観が見えてきます。
研修概要	対 象 新入社員 受講方法 対面型・オンライン 時 間 対面型 4 時間/オンライン 100 分～4 時間 定 員 対面型 原則 10 名(最大 30 名まで)/オンライン 原則 4～10 名(最大 30 名まで) 教 材 レジュメ、レゴ®ブロック
カリキュラム	【4 時間(対面型・オンライン)】 ① キャリア意識形成 ・地域の産業 ・社会人と学生の違い ・会社が求める社員像 ・社会人基礎力診断 ② レゴ®シリアスプレイ® ・導入(アイスブレイク) ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ ・本ワーク(前半) テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返し行います。 ・休憩 ・本ワーク(後半) ③ 振り返り、まとめ 【100 分(オンライン)】 ・キャリア意識形成 ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ(自己紹介 ほか) ・本ワーク テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返し行います。 ・振り返り、まとめ 《テーマ例》 今まで一番思い出に残る事/自分の強み/自分が今までに一番頑張った事 etc
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 寺島 義智 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

6 レゴ®シリアスプレイ®「自分の仕事を理解する」

～自分の仕事を見つめ直し、なりたい自分への目標設定をする～

研修内容	レゴ®ブロックで自分の仕事を形にしてそれを説明し、質問を受け答える中で、自分の仕事を見つめ直します。 担当業務の内容やその意味や意義（社会貢献性）、仕事に対する考え方、顧客への対応の仕方など、今の仕事への取り組む姿勢を見直します。そして、なりたい自分をイメージして、将来への目標設定（3年後アクションプラン）をします。 《ポイント》 レゴ®ブロックというモノを使うことで、リラックスして取り組むことができます。 話すことが苦手な人でも思ったことを言葉にして話す満足感を得ることができます。
研修概要	対 象 新入社員、2～5年目社員、リーダー社員 受講方法 対面型・オンライン 時 間 4 時間 定 員 原則10名(最大20名まで) 教 材 レジュメ、レゴ®ブロック
カリキュラム	① キャリア意識形成 会社とは、働くとは ② レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップ ・ワークの流れ、概要 ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ ・本ワーク(前半) テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返していきます。 ・休憩 ・本ワーク(後半) ③ 振り返り、まとめ(3年アクションプラン) 《テーマ例》 自分の仕事/自分の役割/自分の職場/わたしたちの仕事/わたしたちの職場
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 寺島 義智 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

7 レゴ®シリアスプレイ®「自分の仕事の役割を把握&チームビルディング」

～自分の仕事の役割を把握し、職場の一員としての目標を定める～

研修内容	自分の仕事を3D化することで、仕事の全体像をつかみ、職場における自分の仕事の役割を把握します。 そして、職場において自分がすべきことを理解し、職場のチームメンバーとしての目標を定め、自己成長に向けてさらに一歩を踏み出します。 《ポイント》 レゴ®シリアスプレイ®は身構えず、本音で意見交換が出来ます。そして、知らなかった互いの一面を理解しあうことで、互いを理解し合い、チームビルディングを形成します。
研修概要	対 象 2～5年目社員、リーダー社員 受講方法 対面型・オンライン 時 間 対面型4時間、オンライン140分～4時間 定 員 対面型 原則10名(最大30名まで)、オンライン 原則4～10名(最大30名まで) 教 材 レジューメ(パワーポイント)、レゴ®ブロック
カリキュラム	【4時間(対面型・オンライン)】 ① キャリア意識形成 ・会社とは？働くとは？ ・社会人基礎力 ② レゴ®シリアスプレイ® ・導入(アイスブレイク) ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ ・本ワーク(前半) テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返していきます。 ・休憩 ・本ワーク(後半) ③ 振り返り、まとめ 【140分(オンライン)】 ・キャリア意識形成 ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ(自己紹介 ほか) ・本ワーク テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返していきます。 ・振り返り、まとめ 《テーマ例》 自分の仕事/自分の役割/自分の職場/わたしたちの職場/理想とする職場/快適な職場
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 寺島 義智 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

18 レゴ®シリアスプレイ® 「自社の問題点を明確にする」

～自社の問題や課題、気づいていなかった問題点を浮き彫りにする～

研修内容	幹部社員、リーダー社員のみなさまが、レゴ®ブロックを使って自社を形づくりの中で、自社の問題や課題、気づいていなかった問題点を浮き彫りにし、参加者で共有します。 《ポイント》 業務を行っている中での問題点の把握は、ときに偏っている場合があります。 研修を通してしっかりと腰を据えて自社に向き合います。今まで見えなかった、気づいていなかった問題点が浮き彫りになります。参加者で共有することで、次のステップ(課題解決)への入り口が開きます。 レゴ®ブロックというモノを使うことで、リラックスして取り組むことができます。 尚、レゴ®ブロックを活用したワークショップは、マサチューセッツ工科大学の教育理論「コンストラクショニズム」がベースとなっています。
研修概要	対 象 リーダー社員、管理職社員(課長・係長) 受講方法 対面型・オンライン 時 間 4時間 定 員 対面型 原則10名(最大30名まで)、オンライン 原則4～10名(最大20名まで) 教 材 レジューメ(パワーポイント)、レゴ®ブロック
カリキュラム	①キャリア意識形成 会社経営や組織運営で、大切なこと ②レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップ ・導入(アイスブレイク) ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ ・本ワーク(前半) テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返していきます。 ・休憩 ・本ワーク(後半) ③まとめ 《テーマ例》 自分の仕事/自分の職場/わたしたちの今の職場/わたしたちにとって快適な職場/問題点
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 寺島 義智 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

19 レゴ®シリアスプレイ®「チームビルディングで戦える会社づくり」

～リーダー社員、管理職におすすめ！～

研修内容	限られた人数で多様化するお客さまに対応していくためには、社内が1つになりチームとして業務を遂行することが重要です。 「チームビルディング」の3原則は、「目的共有」「意思疎通」「協働意識」です。 この中でのポイントは、「意思疎通」。「意思疎通」が図られると、自然と「協働意識」が芽生え結果に繋がってきます。 レゴ®ブロックでのワークショップは、自己理解・他者理解によって相互理解が出来、「意思疎通」を図る手段として優れています。 《ポイント》 レゴ®シリアスプレイ®は身構えず、本音で意見交換が出来ます。そして、知らなかった互いの一面を理解しあうことで、互いを理解し合い、チームビルディングを形成します。
研修概要	対 象 リーダー社員、管理職社員（課長・係長） 受講方法 対面型・オンライン 時 間 4時間 定 員 対面型 原則10名（最大30名まで）、オンライン 原則4～10名（最大30名まで） 教 材 レジューメ（パワーポイント）、レゴ®ブロック
カリキュラム	① キャリア意識形成 組織経営で、大切なこと ② レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップ ・導入（アイスブレイク） ・ワークショップの説明 ・ウォーミングアップ ・本ワーク（前半） テーマに対してレゴ®ブロックを使って「問いを受ける→モデルを作る→説明する→気づきを得る」を繰り返していきます。 ・休憩 ・本ワーク（後半） ③ まとめ 《テーマ例》 今の会社/会社の特徴（強み・弱み）/10年後の会社/会社の問題点/会社の課題
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 寺島 義智 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

研修内容	レゴ&えんじえるは、「SWOT分析&クロスSWOT」「レゴ®シリアスプレイ®」「えんじえるゲーム®」の3つのプログラムを掛け合わせた研修でございます。目的は「イノベーション」です。 例えば「業績アップにむけての新規アイデアの発掘」など、企業様の求めるを目標について、チーム対抗で企画立案をいたします。 このような企業様におすすめ 業績アップのため新規企画を求めている / イノベーションを考えている企業様 / 社員からの斬新なアイデアが欲しい / チームビルディングを形成して組織力強化を行いたい / 社員のモチベーションをアップさせ、自律的(主体的)に動けるようにしたい / 社員同士でディスカッションをする中で、社会人基礎力(コミュニケーション力、企画力、分析力など)を高めたい 《ポイント》 担当者様と事前の打ち合わせを行い、オーダーメイドで中身を企画、設計する為、受講者様から「現場で使える内容」「モチベーションが上がった」「考えさせられた」等の感想を頂き、依頼企業様より結果が出る研修として高評価を頂いています。 ブレインストーミング、KJ法などのワークショップ手法も学びながらPDCAトレーニングとなるのが、この研修の特徴です。 チーム内での自分の役割が明確になり、自律的(主体的)な行動に繋がり、個々のキャリア開発はもちろん、揺るぎないチームビルディングを創り上げることが出来ます。
研修概要	対 象 リーダー社員、管理職社員(課長・係長)、営業社員 受講方法 対面型 講 座 全4講座 時 間 6時間×4回 (合計24時間) 定 員 20名 教 材 レゴ®ブロック、レジュメ、マジック、模造紙、付箋
カリキュラム	【1】キャリア意識形成&課題解決トレーニング ①会社とは?働くとは?を考える / ②社会人基礎力自己診断 / ③キャリアを振り返り、キャリアデザインを描く / ④リアルロールプレイング(発生した問題の対処方法について、チームで話し合い解決に挑戦するワークショップ体験) 【2】自社理解&自社分析 STEP1: 自社理解&自社分析 ①自社を再確認する:「企業理念」「経営ビジョン」「事業計画」「今期事業目標」「事業戦略」など ②会社を理解する:会社シートに記入する。会社の3つの財産とは。 ③会社の現状理解:研修の目的確認。現在の状況把握。一年後の日本の経済状況の推測。自社の1年後の予想。 ④業界&隣接業界の動向をみる:業界の動向は?隣接業界の動向は? ⑤SWOT 分析:会社の現状分析(自社や自社の製品・サービスの強みと弱みを分析し、さらに市場の状況や競合の動きなどを理解する) ⑥クロス SWOT 分析:事業戦略立案(分析した4項目を掛け合わせ、戦略を練る) 【3】問題抽出トレーニング&課題解決実践① STEP2. 考えの共有、STEP3. 企画・立案 (1)レゴ®シリアスプレイ® 「SWOT 分析&クロス SWOT」から分析した内容を基に、レゴ®シリアスプレイ®で意見をまとめ、最終的な企画立案に向けて、チームで考えを一つにまとめる。(例)「今の会社をつくる」 現在の姿から会社の特徴をピックアップして、会社の強み弱みを把握するなど。 (2)えんじえるゲーム® 分析結果をもとに、会社の現状を踏まえて「業績キープ・業績アップ」ために何をすべきかをチームでプラン作成します。 ① ブレインストーミング / ② アイデア出し / ③ KJ法、まとめ(プラン作成) / ④ 発表準備 / ⑤ 発表 ⑥ 他チームはえんじえる(投資家)になって評価(模擬貨幣「ヤッターカード」で投資、「評価応援シート」に改善案を記載し発表チームに渡す) 【4】課題解決実践② 3で他チームから受け取った「改善案」を参考に、再度プランを練り直し、プランのブラッシュアップを図る。 ① 評価内容をもとに内容の練り直し / ② 再発表準備 / ③ 再発表 / ④ 他チームはえんじえる(投資家)になって評価 / ⑤ 再評価内容をもとに内容練り直し / ⑥ 再再発表準備 / ⑦ 再再発表 ⑧ 他チームはえんじえる(投資家)になって評価 / ⑨ 最優秀案を投票で決定
講師	木村 彰吾 レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター 安田 真浪 課題解決コンサルタント

研修内容	SDGs とは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015 年 9 月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された、国際社会が協力して目指すゴール(国際目標)です。2030 年に向けた 17 の大きな目標と、それらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成されています。 日本では、2016 年から日本政府が SDGs の取組を始めました。その後、経団連が「企業行動憲章」に SDGs を盛り込んだことから、一気に企業に導入されることになりました。 行政も全国で「SDGs 未来都市」選定し、その地域企業を登録に促すなど、ビジネス界で加速度的に関心・注目が集まっています。 しかし、一方で、「話が大きすぎてまいちピンとこない」「企業登録制度には申請したいが、何をしたらいいのかわからない」というお話をよくお聞きます。そのような企業様に本研修はおすすめです。研修では、SDGs とは何か、そして SDGs の本質をカードゲームを通して理解します。 《ポイント》 「モノ」を活用した体感型研修は、通常の座学とは異なり、研修に参加しやすいのが特徴です。また、ワークショップは全員参加型で、受講者同士が交渉したり協力したりしながら行う為、「チームビルディング」「リーダーシップ養成」にも有効です。 講師は 2030 SDGs 認定ファシリテーターであるとともに、レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーターも取得しているため、ワークショップ後の振り返りではレゴ®シリアスプレイ®を行うことも可能です。(対面型のみ) レゴ®シリアスプレイ®は自分の考えを立体的に伝えることが出来るため、共通理解がしやすいのが特徴です。そのためより深い振り返りを行うことが出来、SDGs の浸透がしやすくなります。 《2030SDGs カードゲームとは?》 2030SDGs は、SDGs の 17 の目標を達成するために、現在から 2030 年までの道のりをバーチャル(疑似)体験するカードゲームです。体験を通じて SDGs の本質を理解することが出来ます。 ゲームはチームに分かれて行い、チーム同士で交渉を行いながら目標達成を目指します。 まずはじめに、このワークでの達成を目指す「個人目標」のカードを引き、そして「プロジェクト」と「時間」「お金」のカードが配られます。そして、「お金」と「時間」カードを使って話し合いや交渉をしながら目標達成に向けて「プロジェクト」を行っていきます。 さまざまな価値観や違う目標を持つ人々がいる世界で、我々はどうやって SDGs のゴールを実現していくのか…身近に感じられず、なかなか向き合えない SDGs について、ゲームを使いプレイフルに学ぶことができます。気がつけば誰もが熱中してゲームに取組み、その世界で起きる様々な出来事から、一人ひとりが、そして組織が、どうやって SDGs とつながっていくかを気づくきっかけを創造します。 ゲームを実施した後に参加者同士で対話することで「なぜ SDGs が私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解することができます。 【オプション】レゴ®シリアスプレイ®で振り返りを深める 研修の振り返りでレゴ®シリアスプレイ®の技法を使用する事が可能です。(対面型開催のみ)ご要望にあわせた、専用のワークショップとしての開催となります。お客様の研修目的やニーズを最大限に取り入れ、デザインしたものをご提供しています。
研修概要	対 象 新入社員、2～5年目社員、リーダー社員、管理職社員(課長・係長)、営業社員、人事担当者、シニア社員 受講方法 対面型・オンライン 時 間 150分(レゴ®シリアスプレイ®付きは180分) 定 員 5～20名 教 材 2030 SDGs カードゲーム
カリキュラム	・導入 ・SDGs とは ・ゲームのルール説明 ・2030SDGs カードゲーム実施 ・振り返り 【オプション】レゴ®シリアスプレイ®で振り返り
講師	木村 彰吾 2030 SDGs 公認ファシリテーター 寺島 義智 2030 SDGs 公認ファシリテーター

【研修番号0】内定者のチームビルディング（オンライン）

業種:輸送機器メーカー

社員規模:1000 名～

階層:内定者

受講者数:10 名

《受講者の声》

- 何をするのか不安だったが、みんな色々考え方があったと思い支えになった。
- 周りの意見を聴くことで、新しい気づきを得た。考え方の幅が広がった。
- いろんな表現の方法があって、みんなの強みを活かして仕事をしていきたい。
- 自分がどういう考えかを改めて知る事ができた。同期の雰囲気や考え方を一緒に掴むことができて楽しになった。
- 6 個のブロックで 3 時間も何をするのか？と思っていたが、また遊びたい。

【研修番号2】相互理解でチームビルディング

業種:産業機械製造業

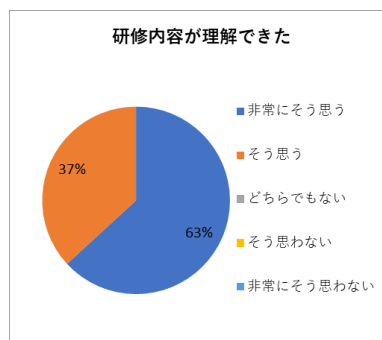
社員規模:500～1000 名

階層:新入社員

受講者数:19 名

《受講者の声》

- 改めて自分のことを知ることができ、他の方のことも知ることができました。
- 人間関係をつくる際に、必要な会話の注意点(どのような気遣いが必要か)知りたかった。
- LEGO を活用しながら楽しみつつ学ぶことができました。
- 自分に必要なことを確認することができた。



【研修番号6】自分の仕事を理解する

業種:印刷業

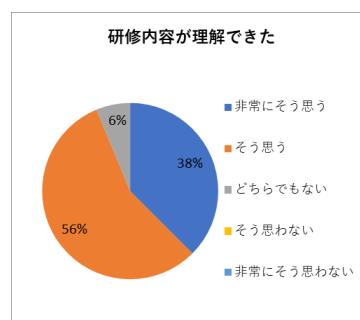
社員規模:1000 名～

階層:リーダー社員他

受講者数:16 名

《受講者の声》

- より良い職場にするには、個々のやる気が必要。
- 普段会社としてできないような体験内容でした。会社以外でも応用できると思います。
- 想像していたものと違い、今後の参考になりました。
- レゴ研修は、是非継続して行って欲しい。



【研修番号 7】自分の仕事の役割を把握 & チームビルディング

業種:産業機械製造業

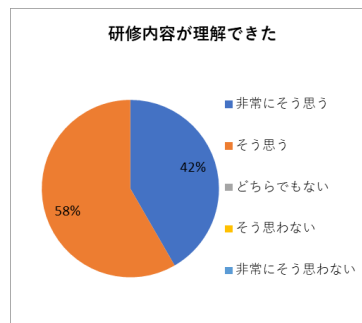
社員規模:500~1000 名

階層:中途入社社員

受講者数:12 名

《受講者の声》

- 社会人基礎力を紙面で見ることによって自分の能力を俯瞰して考えることができた。また、チーム活動を通して思ったよりチームで働く力が足りてなかった。
- あまり考えずレゴブロックを組み上げてみたが、出来上がった姿は見事に自分の気持ち(普段から感じている 問題点や不満)を表しており少しびっくりした。
- 会社について重視する点が、他の方は人間関係だったのに対して私は技術的な点だったのに驚いた。



【研修番号 18】自社の問題点を明確にする

業種:電材商社(卸・小売)

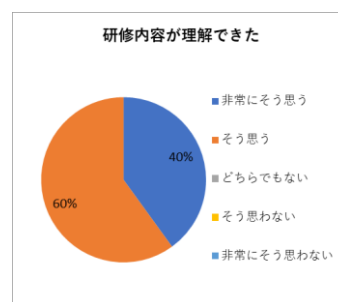
社員規模:300~500 名

階層:ナンバー3社員

受講者数:20 名

《受講者の声》

- グループディスカッション形式の研修が初でした。印象よりも有意義なものだと実感しました。
- 組織経営、多様性、十人十色、今までの自分の固定観念を考えさせるように感じました。
- チーム割でのフリートークの時間が多く、普段なかなか話す機会が少ないメンバーとの会話ができて、有意義な情報交換ができた。
- レゴブロック研修にて、作ったものに対する意味付けをすることに、難しさ、新鮮さを感じました。
- 同じぐらいの役職、世代の人たちが集まっても、立場、家庭環境等によって自分とは違った考えも多く知る事ができて良かったです。



【研修番号 19】チームビルディングで戦える会社づくり

業種:電材商社(卸・小売)

社員規模:300~500 名

階層:所長

受講者数:28 名

備考:ハイブリッド開催(本社開催 & 他拠点オンライン)

《受講者の声》

- 似たような課題を持っていても、対応の仕方・考え方は様々で、いろいろな意見を聞き入れることが大切だと感じた。
- 物事を柔軟にとらえ、思い(考え)を分かりやすく説明するスキルを高めることが今後の部下指導に役立つことを学んだ。
- 同年代・同じ役職同士で研修を通してコミュニケーションが取れてよかった。(19)
- 自己、自分の部署、自社を知る事が大切だと感じた。自社を知り、取引先に自信を持って対応していきたい。
- 係長である自分がより市場分析を理解し、自社の強み・弱みを把握して目標を定めないといけないと思った。

【研修番号22】レゴ&えんじえる「イノベーション研修」

業種:電材商社(卸・小売)

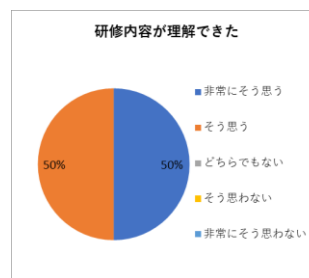
社員規模:300~500名

階層:所長

受講者数:16名

《受講者の声》

- チェックシートで自己分析ができ、自分に足りないものが理解できた。部下にもチェックしてもらい、自己を見つめ直してもらいたい。
- ロープレでチームで協力し、考えることができた。
- 同じ役職同士でも、個性・考え方があって、どれが正解ではないというのが面白い。
- 7W2Hを活用して問題解決に取り組みたい。
- 楽しかったです。



【研修番号30】2030SDGsカードゲーム体感型研修

業種:商社、エネルギー事業、飲食業、建設業、自動車製造業、ガス専門商社、

葬祭業、電機メーカー、卸売業

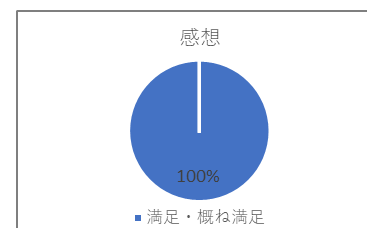
社員規模:1000名~4社、500~1000名2社、100~300名2社 ほか

階層:課長、部長、リーダー・係長、人事、営業

受講者数:9社10名 ※うち、アンケート4社4名回答

《受講者の声》

- 顧客のSDGs推進方針、教育指導内容を考慮し、今回の講習を参考に自社なりに工夫をこらしたオリジナル教育を考えてきたと思います。ありがとうございました。
- 入社後、4~7月に分けて研修を多く行っているため、一通りの研修が完了した後の方が効果的だと感じた。本日は本当に貴重な体験ができました。ありがとうございました。
- 自社というよりは、取引先向けに検討したい。基礎を学んだ上に各社がどう取り込めるのか、それぞれが考えるまでの研修があれば尚良いと思います。



木村 彰吾



担 当: チームビルディング、キャリア意識形成、キャリアコンサルティング
レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーター
国家資格キャリアコンサルタント・メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種
2030 SDGs 公認ファシリテーター

大学卒業後、広告代理店、製造業等の仕事を経てキャリア支援の道へ転身。
2012 年にキャリアコンサルタントとして独立以降、「誰もが仕事で輝ける社会づくり」をモットーに、責任感を持ってキャリア支援を行ってきた。
行政や学校そして企業をフィールドに 2,000 人以上のカウンセリング、2,500 時間以上の講義を実施してきた実績を持つ。
レゴ®シリアスプレイ®技法と専用教材を用いたワークショップは、就職活動中の学生から第二新卒、新入社員から管理職、経営者まで幅広い層を対象にファシリテーションを行ってきた。現在は SDGsの普及に力を注ぎながら後進の育成などにも力を入れている。

寺島 義智



担 当: サステナブル・ワークショップファシリテーター、健康経営コンサルタント
レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーター
2030 SDGs 公認ファシリテーター ほか

組織開発やミッションやビジョンの創出・SDGs の導入・ビジネスモデル作成・商品開発・健康経営など、企業やコミュニティが抱える問題や課題に対して、ワークショップを活用し解決へのサポートをおこなっています。
また、マインドフルネスワークや、ダンス・ピラティス・ストレッチなどのボディーワークやセラピーワークもおこない、より自分らしい在り方(Being)を探索できるよう心身のトータルケアもおこなっています。
<扱うツール>
・LEGO® SERIOUS PLAY® ・「2030 SDGs」ゲーム ・リフレクションカード・ポイント・オブ・ユー® (Points of You®) ・ヴィジュアルエクスプローラー ワールドカフェ ・Read for Action 読書会
・マインドフルネスワーク(瞑想・気功・エネルギーワーク) ボディーワーク(ダンス・ピラティス・ストレッチ) ほか

安田 真浪



(トータルプロデューサー)
担 当: 企画、開発、経営革新
課題解決コンサルタント・武道家・株式会社トライアングル・トラスト代表取締役

新聞記者、探偵、ボディガード、物流、小売販売業、税理士事務所、外資系企業保険(全国3位)などさまざまな業種・職種の経験を元に、2004 年に有限会社トライアングル・トラストを設立。
当初は、起業コンサルタントとして創業セミナーや創業支援(Dream Gate=経産省後援、2010 中部相談件数 No.1 獲得)、経営革新支援を行う。リーマンショック以降は、官公庁事業で人材育成、定着支援事業に取り組む。
現在は、企業の課題解決に伴うコンサルティングで、多種多様な業界の人材問題・新規事業企画・開発・運営を得意とする。産学官に広いネットワークを持つのが強み。企業コンサルティングでは、社長、役員、幹部社員から新入社員、内定者まで、対象者が幅広い。それぞれの考え方や特徴、得意不得意を考慮し、「何があればこの会社は良くなるのか」「根本的な原因は何なのか」を基本柱に課題解決を行う。どの業界に対しても「自分の会社」として取り組むため、結果出しを生み高評価をいただく。窓口となる役員や担当者教育を併せて行うのが特徴で、「プロジェクト」を得意としている。

■ お問い合わせ、資料請求について ■

お問合せと資料請求につきましては、弊社ウェブサイトのお問合せフォームまたは、下記連絡先にてご連絡お願いいたします。
ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

■ その他 ■

「お申し込みからの流れ」および「研修費用の考え方」につきましては、別紙「研修ガイド」をご参照ください。

■ 連絡先 ■

企業の課題解決コンサルティング

株式会社トライアングル・トラスト



〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1 丁目 7-6 丸の内 Terrace803

TEL 0120-706-008

Mail info@triangle-trust.jp

弊社ウェブサイトはこちら→ ※お問合せフォームはこちら

